

土木関係積算標準・積算要領

6 — 4

(軌道編)

新 旧 対 照 表

令和 5 年版

(令和 5 年 9 月)

ページ	改正	現 行
目次	目 次	目 次
	1 適用範囲 1	1 適用範囲 1
	2 工事工種体系の構成 1	2 工事工種体系の構成 1
	3 工事費の構成 2	3 工事費の構成 2
	I 軌道スラブ製作	I 軌道スラブ製作
	1 材料費 3	1 材料費 3
	2 型枠損料 3	2 型枠損料 3
	3 直接工数 4	3 直接工数 4
	II 運搬費	II 運搬費
	1 運搬費 4	1 運搬費 4
	III ゴムマット貼付	III ゴムマット貼付
	1 材料費 4	1 材料費 4
	2 直接工数 5	2 直接工数 5
	IV タイプレート取付	IV タイプレート取付
	1 材料費 5	1 材料費 5
	2 直接工数 5	2 直接工数 5
	<u>V</u> RFID タグ取付 5	
	<u>VI</u> その他	<u>V</u> その他
	1 保安経費等 5	1 保安経費等 5
	2 骨材試験費 5	2 骨材試験費 5
	<u>VII</u> 歩掛条件入力基準表及び単価表	<u>VI</u> 歩掛条件入力基準表及び単価表
	1 単価表 6	1 単価表 6
	参考 各作業別の材料内訳 10	参考 各作業別の材料内訳 10

ページ	改正				現 行			
P1	2 工事工種体系の構成				2 工事工種体系の構成			
	工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	工 事 区 分	工 種	種 別	細 別
	軌 道 工 事	工 場 製 作 工	軌道スラブ製作（ＲＣ）	「工事工種体系の構成表」による	軌 道 工 事	工 場 製 作 工	軌道スラブ製作（ＲＣ）	「工事工種体系の構成表」による
			軌道スラブ製作（ＰＲＣ）				軌道スラブ製作（ＰＲＣ）	
			ゴ ム マ ッ ト 貼 付				ゴ ム マ ッ ト 貼 付	
			タ イ プ レ ー ト 取 付				タ イ プ レ ー ト 取 付	
			R F I D タ グ 取 付					
			試 験 費				試 験 費	
	直 接 工 事 費	工 場 製 品 輸 送 工	運 搬 工		直 接 工 事 費	工 場 製 品 輸 送 工	運 搬 工	
		間 接 労 務 費				間 接 労 務 費		
	間 接 工 事 費	工 場 管 理 費			間 接 工 事 費	工 場 管 理 費		
	工 場 製 作 原 価	一 般 管 理 費 等			工 場 製 作 原 価	一 般 管 理 費 等		
	工 事 価 格	消 費 税 相 当 額			工 事 価 格	消 費 税 相 当 額		
	請 負 工 事 費				請 負 工 事 費			

ページ	改正	現行
P2	3 工事費の構成	3 工事費の構成

ページ	改正	現行																																																												
P3	1 材料費 (1) コンクリートに使用する材料の標準数量は次による。 コンクリート 1 m³ 当り <table><tr><th>材料名</th><th>単位</th><th>数量 (温暖地)</th><th>数量 (寒冷地)</th><th>記 事</th></tr><tr><td>早強セメント</td><td>kg</td><td>399</td><td>391</td><td></td></tr><tr><td>粗骨材</td><td>m³</td><td>0.684</td><td>0.665</td><td></td></tr><tr><td>細骨材</td><td>m³</td><td>0.527</td><td>0.529</td><td></td></tr><tr><td>混和剤</td><td>kg</td><td>3.89</td><td>4.05</td><td></td></tr><tr><td>_____</td><td>_____</td><td>_____</td><td>_____</td><td></td></tr></table> (注) 現地の状況に合わない場合は、実情により配合設計を別途査定すること。 標準数量は、示方書記載の配合条件によるもので、空気量は3%（温暖地）、5%（寒冷地）である。	材料名	単位	数量 (温暖地)	数量 (寒冷地)	記 事	早強セメント	kg	399	391		粗骨材	m ³	0.684	0.665		細骨材	m ³	0.527	0.529		混和剤	kg	3.89	4.05		_____	_____	_____	_____		1 材料費 (1) コンクリートに使用する材料の標準数量は次による。 コンクリート 1 m³ 当り <table><tr><th>材料名</th><th>単位</th><th>数量 (温暖地)</th><th>数量 (寒冷地)</th><th>記 事</th></tr><tr><td>早強セメント</td><td>kg</td><td>399</td><td>393</td><td></td></tr><tr><td>粗骨材</td><td>m³</td><td>0.684</td><td>0.675</td><td></td></tr><tr><td>細骨材</td><td>m³</td><td>0.527</td><td>0.509</td><td></td></tr><tr><td>混和剤</td><td>kg</td><td>3.89</td><td>3.85</td><td></td></tr><tr><td>水</td><td>m³</td><td>0.152</td><td>0.146</td><td></td></tr></table> (注) 現地の状況に合わない場合は、実情により配合設計を別途査定すること。 標準数量は、示方書記載の配合条件によるもので、空気量は3%（温暖地）、4%（寒冷地）である。	材料名	単位	数量 (温暖地)	数量 (寒冷地)	記 事	早強セメント	kg	399	393		粗骨材	m ³	0.684	0.675		細骨材	m ³	0.527	0.509		混和剤	kg	3.89	3.85		水	m ³	0.152	0.146	
材料名	単位	数量 (温暖地)	数量 (寒冷地)	記 事																																																										
早強セメント	kg	399	391																																																											
粗骨材	m ³	0.684	0.665																																																											
細骨材	m ³	0.527	0.529																																																											
混和剤	kg	3.89	4.05																																																											
_____	_____	_____	_____																																																											
材料名	単位	数量 (温暖地)	数量 (寒冷地)	記 事																																																										
早強セメント	kg	399	393																																																											
粗骨材	m ³	0.684	0.675																																																											
細骨材	m ³	0.527	0.509																																																											
混和剤	kg	3.89	3.85																																																											
水	m ³	0.152	0.146																																																											
P5	V RFID タグ取付 (軌道スラブ 1 枚当り) <table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>数量</th><th>記事</th></tr><tr><td>直接工 (B)</td><td>人</td><td>0.012</td><td></td></tr><tr><td>RFID タグ</td><td>個</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>異形棒鋼 SD295 D13</td><td>Kg</td><td>0.398</td><td>タグ取付用</td></tr></table>	名称	単位	数量	記事	直接工 (B)	人	0.012		RFID タグ	個	1		異形棒鋼 SD295 D13	Kg	0.398	タグ取付用	(新設)																																												
名称	単位	数量	記事																																																											
直接工 (B)	人	0.012																																																												
RFID タグ	個	1																																																												
異形棒鋼 SD295 D13	Kg	0.398	タグ取付用																																																											
P6	VI その他 VII 単価表	V その他 VI 単価表																																																												

ページ

改正

現行

P9

(12)RFID タグ取付 1 枚当り単価表

歩掛コード

S340085

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
直接工(B)		人		V RFID タグ取付
RFID タグ		個		〃
異形棒鋼	SD295 D13	Kg		〃
合 計				
1 枚 当 り		枚	1	

(13)骨材試験費 1 回当り単価表

歩掛コード

S340080

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
骨材試験費		回		VIその他 2 骨材試験費
合 計				
1 回 当 り		回	1	

(新設)

(12)骨材試験費 1 回当り単価表

歩掛コード

S340080

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
骨材試験費		回		Vその他 2 骨材試験費
合 計				
1 回 当 り		回	1	

ページ

改正

P5

(3) 軌道保守

(軌道延長 100m 当り)

職 種	単 位	歩 掛	記 事
軌 道 工	人	0.51	
普 通 作 業 員	〃	0.51	

(注) 1. 軌道保守は、路盤コンクリート上に直結している仮軌道のボルト再締結継目保守、パッキン材、点検等を言う。
2. 経年に伴い材料交換を伴う補修作業は、別途積算する。

P6

3 材料費

(1) 仮軌道

(軌道延長 100m 当り)

品 名	品 形	単位	数 量		記 事
			一般	カント 180 mm 以上	
コンクリートアンカー	φ 10 mm × 40 mm	本	160	240	
全 ね じ ボ ル ト (ナット付)	φ 10 mm × 100 mm	〃	160	240	
押 え 金 具	角 70 mm × 70 mm	個	72	108	損率換算
座 金	角 30 mm × 30 mm	〃	72	108	〃
スプリングワッシャー		〃	72	108	〃
ド リ ル ビ ッ ト		本	0.64	0.96	〃
継 目 用 金 具		個	0.3		〃
簡 易 ゲ ー ジ タ イ	無規格 3 × 30 × 1, 750 mm	本	10		〃
そ の 他	上記金額の	%	2		

(注) 仮軌道における締結間隔は 2.5m とする。ただし、カント 180 mm 以上の区間の内軌側は 1.25m 間隔とする。

(2) パッキン挿入

(軌道延長 100m 当り)

品 名	単位	数 量		記 事
		カント 180mm 未満	カント 180 mm 以上	
松板 (t =30 mm、幅 150 mm)	m ³	0.13	(外軌) 0.06	損率換算
ケンバス材 (t =30 mm、幅 150 mm)	m ³	二	(内軌) 0.13	損率換算

(注) 仮軌道における締結間隔は 2.5m とする。ただし、カント 180 mm 以上の区間の内軌側は 1.25m 間隔とする。

P9

④工事用軌道材料費 1 m 当り単価表

歩掛コード	S360160
-------	---------

名称	規格	単位	数量	摘要
コンクリートアンカー	φ 10mm × 40mm	本	CAa	3 材料費
全 ね じ ボ ル ト	φ 10mm × 100m (ナット付き)	本	Bo7 又は Bo10	〃
パ ッ キ ン 材	松 板 (t=30mm, 幅 150mm)	m3	Pa	〃
(表 以下省略)				

現 行

(3) 軌道保守

(軌道延長 100m 当り)

職 種	単 位	歩 掛	記 事
軌 道 工	人	0.15	
普 通 作 業 員	〃	0.15	

(注) 軌道保守は、路盤コンクリート上に直結している仮軌道のボルト再締結継目保守、パッキン材、点検等を言う。

3 材料費

(1) 仮軌道

(軌道延長 100m 当り)

品 名	品 形	単位	数 量		記 事
			一般	カント 180 mm 以上	
コンクリートアンカー	φ 10 mm × 40 mm	本	160	240	
全 ね じ ボ ル ト (ナット付)	φ 10 mm × 100 mm (突起設計高さ 250mm 以上)	〃	160	240	
押 え 金 具	角 70 mm × 70 mm	個	72	108	損率換算
座 金	角 30 mm × 30 mm	〃	72	108	〃
スプリングワッシャー		〃	72	108	〃
ド リ ル ビ ッ ト		本	0.64	0.96	〃
継 目 用 金 具		個	0.3		〃
簡 易 ゲ ー ジ タ イ	無規格 3 × 30 × 1, 750 mm	本	5		〃
そ の 他	上記金額の	%	2		

(注) 1. 仮軌道における締結間隔は 2.5m とする。ただし、カント 180 mm 以上の区間の内軌側は 1.25m 間隔とする。
2. 突起コンクリート設計高さが、250mm 未満の場合の全ねじボルトの品形は、φ 10mm × 70mm とする。

(2) パッキン挿入

(軌道延長 100m 当り)

品 名	単位	数 量		記 事
		カント 180mm 未満	カント 180 mm 以上	
松板 (t =30 mm、幅 150 mm)	m ³	0.13	0.19	損率換算
(追加)				

(注) 1. 仮軌道における締結間隔は 2.5m とする。ただし、カント 180 mm 以上の区間の内軌側は 1.25m 間隔とする。
2. パッキン挿入は、突起コンクリート設計高さ 250mm 以上の場合に限り計上する。

④工事用軌道材料費 1 m 当り単価表

歩掛コード	S360160
-------	---------

名称	規格	単位	数量	摘要
コンクリートアンカー	φ 10mm × 40mm	本	CAa	3 材料費
全 ね じ ボ ル ト	φ 10mm × 70mm (ナット付き)	本	Bo7 又は Bo10	〃
パ ッ キ ン 材	松 板 (t=30mm, 幅 150mm)	m3	Pa	〃
(表 以下省略)				

ページ	改正	現 行
目次	目 次	目 次
	I 総 則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	I 総 則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
	1 適用範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	1 適用範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
	2 工事工種体系の構成・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	2 工事工種体系の構成・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
	3 標準歩掛の基準・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	3 標準歩掛の基準・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
	4 機械経費等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	4 機械経費等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
	別表－1 工事工種体系の構成・・・・・・・・・・・・ 2	別表－1 工事工種体系の構成・・・・・・・・・・・・ 2
	II 基地仮設・撤去・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	II 基地仮設・撤去・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
	1 一般事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	1 一般事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
	2 標準歩掛等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	2 標準歩掛等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
	III ガス圧接・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5	III ガス圧接・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
	1 一般事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5	1 一般事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
	2 標準歩掛・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7	2 標準歩掛・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
	(1) 溶接機械組立、解体・・・・・・・・・・・・ 7	(1) 溶接機械組立、解体・・・・・・・・・・・・ 7
	(2) テストピース製作及び試験・・・・・・・・ 7	(2) テストピース製作及び試験・・・・・・・・ 7
	(3) レール作業及びレール溶接作業・・・・・・・・ 8	(3) レール作業及びレール溶接作業・・・・・・・・ 8
	3 材料費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10	3 材料費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
	4 機械所要台数表・・・・・・・・・・・・・・・・ 11	4 機械所要台数表・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
	IV エンクローズアーク溶接・・・・・・・・・・・・ 12	IV エンクローズアーク溶接・・・・・・・・・・・・ 12
	1 一般事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12	1 一般事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
	2 標準歩掛・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13	2 標準歩掛・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
	(1) 機器組立及び解体・・・・・・・・・・・・ 13	(1) 機器組立及び解体・・・・・・・・・・・・ 13
	(2) レール溶接・・・・・・・・・・・・・・・・ 13	(2) レール溶接・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
	(3) 超音波探傷検査・・・・・・・・・・・・ 14	(3) 超音波探傷検査・・・・・・・・・・・・ 14
	3 材料費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15	3 材料費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
	4 機械所要台数表・・・・・・・・・・・・・・・・ 15	4 機械所要台数表・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
	<u>参考図</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <u>16</u>	
	V 単価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <u>17</u>	V 単価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <u>16</u>
	1 単価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <u>17</u>	1 単価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <u>16</u>

ページ

改正

P3

2 標準歩掛等
(1) ローラ据付、撤去
① 歩 掛

(10 箇所当り)

種 別	工 種	単位	路盤上		高架上		記 事
			据付	撤去	据付	撤去	
高ローラ	軌 道 工	人	2.3	1.0	1.6	1.0	古まくらぎ切断及び取付台の仮設、撤去を含む。
	特殊作業員	〃	2.3	1.0	1.6	1.0	
	普通作業員	〃	4.6	2.1	3.2	2.1	
低ローラ	軌 道 工	〃	1.0	0.4	0.6	0.4	同 上
	特殊作業員	〃	1.0	0.4	0.6	0.4	
	普通作業員	〃	1.9	0.8	1.2	0.8	

(注) ローラ数量は、参考図のとおり、高ローラ 63 箇所（標準間隔約 4.0m）、低ローラ 34 箇所（標準間隔約 6.0m）を標準とする。
ただし、基地条件、レール置場数、作業箇所毎の配置間隔等により必要ローラ数量は異なるため、参考図と異なる条件の場合は、別途、必要ローラ数量を算出すること。

P11

4 機械所要台数表

機 械 名	形 式	重量(t)	単位	所要数		記 事
				一次	二次	
レールガス圧接機 (TGP-119)	鉄研可搬式押抜き付き (付属品一式共)	0.80	式	1	1	
発 動 発 電 機	<u>13/15KVA</u> (ディーゼルエンジン駆動・ <u>排ガス</u>)	<u>0.50</u>	台	1	1	
〃	<u>4.5/5KVA</u> (ディーゼルエンジン駆動)	<u>0.24</u>	〃	3	2	
モータウインチ	巻上能力 0.5 t × 40m/分	0.23	〃	1		必要により増加
簡易トロリー	1 t 積	0.07	〃		7	
ボルト緊解機	電動式	0.01	〃		4	敷設工法の場合等
門 形 ク レ ーン	1.5 t (電動ホイス付)	1.12	〃	必要数		
発 動 発 電 機	<u>20/25KVA</u> (ディーゼルエンジン駆動・ <u>排ガス</u>)	0.73	台	1		電動ホイス用 (明り区間)
〃	<u>30/35KVA</u> (ディーゼルエンジン駆動・排ガス)	0.99	〃	1		電動ホイス用 (トンネル区間)
高 ロ ー ラ	600 mm (高さ調整式)	0.06	個	<u>63</u> (標準)		
低 ロ ー ラ	180 mm	0.01	〃	<u>34</u> (標準)	100	
レール吊上機	1.5 t 吊り	0.02	台	1 (標準)		
レール再熱処理装置	頭部熱処理レールガス圧接用	0.32	式	1	1	
グライNDER	各 種	0.01	〃	4	3	

現 行

2 標準歩掛等
(1) ローラ据付、撤去
① 歩 掛

(10 箇所当り)

種 別	工 種	単位	路盤上		高架上		記 事
			据付	撤去	据付	撤去	
高ローラ	軌 道 工	人	2.3	1.0	1.6	1.0	古まくらぎ切断及び取付台の仮設、撤去を含む。
	特殊作業員	〃	2.3	1.0	1.6	1.0	
	普通作業員	〃	4.6	2.1	3.2	2.1	
低ローラ	軌 道 工	〃	1.0	0.4	0.6	0.4	同 上
	特殊作業員	〃	1.0	0.4	0.6	0.4	
	普通作業員	〃	1.9	0.8	1.2	0.8	

(注) ローラ数量は、基地条件、作業箇所別の配置間隔等により異なるが、標準数量を、高ローラ 44 箇所（標準間隔約 4.0m）、低ローラ 52 箇所（標準間隔約 6.0m）とする。

4 機械所要台数表

機 械 名	形 式	重量(t)	単位	所要数		記 事
				一次	二次	
レールガス圧接機 (TGP-119)	鉄研可搬式押抜き付き (付属品一式共)	0.80	式	1	1	
発 動 発 電 機	<u>15KVA 19.5PS</u> (ディーゼルエンジン駆動 <u> </u>)	<u>0.57</u>	台	1	1	
〃	<u>5KVA 10PS</u> (ディーゼルエンジン駆動)	<u>0.23</u>	〃	3	2	
モータウインチ	巻上能力 0.5 t × 40m/分	0.23	〃	1		必要により増加
簡易トロリー	1 t 積	0.07	〃		7	
ボルト緊解機	電動式	0.01	〃		4	敷設工法の場合等
門 形 ク レ ーン	1.5 t (電動ホイス付)	1.12	〃	必要数		
発 動 発 電 機	<u>25KVA 31 PS</u> (ディーゼルエンジン駆動 <u> </u>)	0.73	台	1		電動ホイス用 (明り区間)
〃	<u>35KVA 45 PS</u> (ディーゼルエンジン駆動・排ガス)	0.99	〃	1		電動ホイス用 (トンネル区間)
高 ロ ー ラ	600 mm (高さ調整式)	0.06	個	<u>44</u> (標準)		
低 ロ ー ラ	180 mm	0.01	〃	<u>52</u> (標準)	100	
レール吊上機	1.5 t 吊り	0.02	台	1 (標準)		
レール再熱処理装置	頭部熱処理レールガス圧接用	0.32	式	1	1	
グライNDER	各 種	0.01	〃	4	3	

ページ

改正

ページ

改 正

現 行

改 P21
現 P20

③-3 機械損料 1口当り単価表

歩掛コード	S390370
-------	---------

名	称	規 格	単位	数量	摘 要
レールガス圧接機		供用日当り	日		4 機械所要台数表
レールガス圧接機		運転日当り	日		〃
発動発電機	4.5/5KVA	供用日当り	日		〃
発動発電機	4.5/5KVA	運転日当り	日		〃
軽 油			L		〃
モーターウインチ		供用日当り	日		〃 モーターウインチ計上の場合
モーターウインチ		運転日当り	日		
電 動 ホ イ ス ト		1.5t 吊 2.2kw	日		4 機械所要台数表 供用日当り(注 1)
電 動 ホ イ ス ト		1.5t 吊 2.2kw	日		4 機械所要台数表 運転日当り(注 1)
発動発電機	20/25KVA	供用日当り (明り区間)	日		4 機械所要台数表 (注 2)
発動発電機	20/25KVA	運転日当り (明り区間)	日		
発動発電機	30/35KVA	供用日当り (トンネル区間)	日		4 機械所要台数表 (注 3)
発動発電機	30/35KVA	運転日当り (トンネル区間)	日		
軽 油			L		
高 ロ ー ラ		600mm(高さ調整式)	日		4 機械所要台数表 供用日当り 高ローラ計上の場合
低 ロ ー ラ			日		4 機械所要台数表 供用日当り 低いローラ計上の場合
レール吊上機			日		4 機械所要台数表 供用日当り レール吊上機計上の場合
レール再熱処理装置			日		4 機械所要台数表 供用日当り(注 4)
レール再熱処理装置			日		4 機械所要台数表 運転日当り(注 4)
発 動 発 電 機 排カゝス(1次)		13/15KVA	日		4 機械所要台数表 供用日当り
発 動 発 電 機 排カゝス(1次)		13/15KVA	日		4 機械所要台数表 運転日当り
軽 油			L		
グ ラ イ ン ダ ー			日		4 機械所要台数表 供用日当り
グ ラ イ ン ダ ー			日		4 機械所要台数表 運転日当り
合 計					
1 口 当 り			口	Nd	

③-3 機械損料 1口当り単価表

歩掛コード	S390370
-------	---------

名	称	規 格	単位	数量	摘 要
レールガス圧接機		供用日当り	日		4 機械所要台数表
レールガス圧接機		運転日当り	日		〃
発動発電機	5KVA	供用日当り	日		〃
発動発電機	5KVA	運転日当り	日		〃
軽 油			L		〃
モーターウインチ		供用日当り	日		〃 モーターウインチ計上の場合
モーターウインチ		運転日当り	日		
電 動 ホ イ ス ト		1.5t 吊 2.2kw	日		4 機械所要台数表 供用日当り(注 1)
電 動 ホ イ ス ト		1.5t 吊 2.2kw	日		4 機械所要台数表 運転日当り(注 1)
発動発電機	25KVA	供用日当り (明り区間)	日		4 機械所要台数表 (注 2)
発動発電機	25KVA	運転日当り (明り区間)	日		
発動発電機	35KVA	供用日当り (トンネル区間)	日		4 機械所要台数表 (注 3)
発動発電機	35KVA	運転日当り (トンネル区間)	日		
軽 油			L		
高 ロ ー ラ		600mm(高さ調整式)	日		4 機械所要台数表 供用日当り 高ローラ計上の場合
低 ロ ー ラ			日		4 機械所要台数表 供用日当り 低いローラ計上の場合
レール吊上機			日		4 機械所要台数表 供用日当り レール吊上機計上の場合
レール再熱処理装置			日		4 機械所要台数表 供用日当り(注 4)
レール再熱処理装置			日		4 機械所要台数表 運転日当り(注 4)
発 動 発 電 機 排カゝス(1次)		15KVA	日		4 機械所要台数表 供用日当り
発 動 発 電 機 排カゝス(1次)		15KVA	日		4 機械所要台数表 運転日当り
軽 油			L		
グ ラ イ ン ダ ー			日		4 機械所要台数表 供用日当り
グ ラ イ ン ダ ー			日		4 機械所要台数表 運転日当り
合 計					
1 口 当 り			口	Nd	

ページ

改正

④-3 機械損料 1口当り単価表

歩掛コード	S390380
-------	---------

名	規 格	単位	数量	摘 要
レールガス圧接機		日		4 機械所要台数表 供用日
レールガス圧接機		日		4 機械所要台数表 運転日
発動発電機 4.5/5KVA		日		4 機械所要台数表 供用日
発動発電機 4.5/5KVA		日		4 機械所要台数表 運転日
軽 油		L		
簡 易 ト ロ リ ー	1t 積アルミ製・セーフ ロック	日		4 機械所要台数表 供用日
簡 易 ト ロ リ ー	1t 積アルミ製・セーフ ロック	日		4 機械所要台数表 運転日
ボ ル ト 緊 解 機		日		4 機械所要台数表 供用日
ボ ル ト 緊 解 機		日		4 機械所要台数表 運転日
発動発電機 2KVA		日		4 機械所要台数表 供用日
発動発電機 2KVA		日		4 機械所要台数表 運転日
ガ ソ リ ン		L		
低 ロ ー ラ		日		4 機械所要台数表 供用日
レール再熱処理装置		日		4 機械所要台数表 供用日（注1）
レール再熱処理装置		日		4 機械所要台数表 運転日（注1）
発動発電機 13/15KVA		日		4 機械所要台数表 供用日
発動発電機 13/15KVA		日		4 機械所要台数表 運転日
軽 油		L		
グ ラ イ ン ダ ー		日		4 機械所要台数表 供用日
グ ラ イ ン ダ ー		日		4 機械所要台数表 運転日
合 計				
1 口 当 り		口	Nd	

現行

④-3 機械損料 1口当り単価表

歩掛コード	S390380
-------	---------

名	規 格	単位	数量	摘 要
レールガス圧接機		日		4 機械所要台数表 供用日
レールガス圧接機		日		4 機械所要台数表 運転日
発動発電機 5KVA		日		4 機械所要台数表 供用日
発動発電機 5KVA		日		4 機械所要台数表 運転日
軽 油		L		
簡 易 ト ロ リ ー	1t 積アルミ製・セーフ ロック	日		4 機械所要台数表 供用日
簡 易 ト ロ リ ー	1t 積アルミ製・セーフ ロック	日		4 機械所要台数表 運転日
ボ ル ト 緊 解 機		日		4 機械所要台数表 供用日
ボ ル ト 緊 解 機		日		4 機械所要台数表 運転日
発動発電機 2KVA		日		4 機械所要台数表 供用日
発動発電機 2KVA		日		4 機械所要台数表 運転日
ガ ソ リ ン		L		
低 ロ ー ラ		日		4 機械所要台数表 供用日
レール再熱処理装置		日		4 機械所要台数表 供用日（注1）
レール再熱処理装置		日		4 機械所要台数表 運転日（注1）
発動発電機 15KVA		日		4 機械所要台数表 供用日
発動発電機 15KVA		日		4 機械所要台数表 運転日
軽 油		L		
グ ラ イ ン ダ ー		日		4 機械所要台数表 供用日
グ ラ イ ン ダ ー		日		4 機械所要台数表 運転日
合 計				
1 口 当 り		口	Nd	

ページ

改正

現行

改 P26
現 P25

②-3 機械損料 1口当り単価表

歩掛コード	S390660
-------	---------

名	称	規	格	単位	数量	摘	要
直	流	溶	接	機		4	機械所要台数表 供用日
直	流	溶	接	機		4	機械所要台数表 運転日
軽	油			L			
発	動	発	電	機	4.5/5KVA	日	4 機械所要台数表 供用日
発	動	発	電	機	4.5/5KVA	日	4 機械所要台数表 運転日
軽	油			L			
簡	易	ト	ロ	リ	ー	4	機械所要台数表 供用日
簡	易	ト	ロ	リ	ー	4	機械所要台数表 運転日
レ	ー	ル	切	断	機		4 機械所要台数表 供用日
レ	ー	ル	切	断	機		4 機械所要台数表 運転日
ガ	ソ	リ	ン				
グ	ラ	イ	ン	ダ	ー	4	機械所要台数表 供用日
グ	ラ	イ	ン	ダ	ー	4	機械所要台数表 運転日
エ	ン	ク	ロ	ー	ズ	治	具
合	計						
1	口	当	り		Nd		

②-3 機械損料 1口当り単価表

歩掛コード	S390660
-------	---------

名	称	規	格	単位	数量	摘	要
直	流	溶	接	機		4	機械所要台数表 供用日
直	流	溶	接	機		4	機械所要台数表 運転日
軽	油			L			
発	動	発	電	機	5KVA	日	4 機械所要台数表 供用日
発	動	発	電	機	5KVA	日	4 機械所要台数表 運転日
軽	油			L			
簡	易	ト	ロ	リ	ー	4	機械所要台数表 供用日
簡	易	ト	ロ	リ	ー	4	機械所要台数表 運転日
レ	ー	ル	切	断	機		4 機械所要台数表 供用日
レ	ー	ル	切	断	機		4 機械所要台数表 運転日
ガ	ソ	リ	ン				
グ	ラ	イ	ン	ダ	ー	4	機械所要台数表 供用日
グ	ラ	イ	ン	ダ	ー	4	機械所要台数表 運転日
エ	ン	ク	ロ	ー	ズ	治	具
合	計						
1	口	当	り		Nd		